

平成26年12月14日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第1区 —

選挙公報

投票日 12月14日 日

愛媛県選挙管理委員会



自由民主党公認

しおざき

塩崎やすひさ

(64歳)

未来への責任。

いま日本は、大きな岐路に立っています。安倍政権の2年間、「強い経済を取り戻す」政策により、雇用の改善と、所得の上昇などの成果が生まれています。15年間苦しんだデフレから脱却するチャンスをやく掴むことができました。この景気回復の道を確かなものとするため、消費税10%への引き上げを18カ月延期いたします。その間に経済の好循環をもちたす成長戦略を加速し、経済成長と財政再建の責任を果たします。強い経済は地方創生から、何より松山の活性化、中小企業の底上げを推進します。また、厚生労働行政では、すべての人が安心と生きがいをもって輝ける社会を構築します。私たちには、この道しかありません。確かな未来を次世代に手渡すために、「未来への責任」を、しっかりと果たして参ります。

▶ 塩崎やすひさ略歴 ◀
昭和25年11月7日生まれ。(寅年)
50年 東大卒、日銀入行。
57年 ハーバード大学大学院修了。
平成5年 衆議院議員に初当選(衆6回、参1回当選)。
大蔵政務次官、衆・法務委員長、外務副大臣を歴任。
平成18年 内閣官房長官・拉致問題担当大臣。
平成24・25年 自民党政調会長代理。
憲政史上初めて、国会に原発事故調査委員会を設置。
公務員制度改革や経済再生など、幅広く取り組む。
平成26年 厚生労働大臣。
(家族は妻、息子2人、孫4人と猫2匹。)

1 強い経済は地方創生から。

- 生産性向上と競争力の回復を通じ「雇用増と賃金上昇の好循環」を目指すアベノミクスを加速し、日本経済を強化する。
- 地方創生で愛媛、松山の地域経済を活性化し、ふるさとの「匠」の発掘と育成、中小企業の底上げを強力に推進する。
- 柑橘をはじめ「攻めの農林水産業」を加速させる。

2 経済成長、財政再建を強力に進める。

- デフレ脱却のチャンスを手放さない。
- 動き始めた経済の好循環を加速させる。
- 財政再建の旗は降ろさない。

3 安心できる確かな社会保障を構築。

- 子育て支援、医療・介護、年金の改革を断行し、社会保障を充実させる。
- 「切れ目のない医療・介護」を実現するため、地域包括ケアの仕組みを確立する。
- 医療・介護の人材確保と処遇改善で、サービスを充実させる。
- 世界に冠たる国民皆保険を次の世代につなげる改革を行う。

4 すべての人がいきいきと輝く社会へ。

- 子ども・若者への教育、医療・療育、就労支援等で未来に希望を持つ若者を育てる。
- 女性が働きやすい環境を整備し、女性が輝く社会を創る。
- 待機児童の解消、子育ての経済的負担の軽減など、子育て世代が安心と生きがいを感じられる社会を構築する。
- 認知症対策の充実強化など高齢者が安心して暮らせる地域づくりを進める。
- 障がい者が分け隔てなく暮らせる社会づくりをめざす。
- 子どもの貧困対策とともに、児童虐待防止や社会的養護の体制を強化する。

5 強い外交力・安全保障・防災で安心の国づくり。

- 中国・韓国を含むアジア、世界の中でリーダーとしての責任を果たす。
- 自主防衛の精神の下、日米同盟を礎とした、安心の安全保障をつくる。
- 国民の命、国土を守る法制度や、防災力を強化する法制度を整備・強化する。



ともに語り
ともに歩もう。

安倍政権2年間の経済政策の成果

安倍内閣発足後、雇用は100万人の増加。 <ul style="list-style-type: none">●就業者の数は、約100万人の増加。●有効求人倍率は22年ぶりの高水準。●高校生の就職内定率は、大幅に改善(41.0%→54.4%)。	賃金、ボーナスは近年最も高い伸び。 <ul style="list-style-type: none">●賃上げ率は過去15年で最高の伸びを実現(2.07%)。●夏のボーナスは24年ぶりに平均7%以上の高い伸びを実現。	中小企業にも回復が波及。 <ul style="list-style-type: none">●企業の経常利益は過去最高水準。●中小企業の業況、資金繰りは政権交代前の状況から大きく改善。●約2/3の中小企業で賃上げを実施。
---	---	--

実感できる景気回復へ。「地方創生」でこの力を松山につなぐ。

暴走政治ストップ

安倍政権の経済失政による「不況」で、くらしはますます深刻です。暴走政治ストップ—もっとも確かな力は、日本共産党と私、田中かつひこへの一票です。力をあわせ、国民の声で動く新しい政治をつくりましょう。

国民の声で動く新しい政治を



たなか

田中かつひこ

日本共産党

消費税増税10%キツパリ中止

- 財源 ● 富裕層と大企業に応分の負担を求め、大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収をふやす

伊方原発再稼働やめ、ゼロへ

「戦争する国」づくり許さない

私には、小学1年と3年の2人の子どもがいます。憲法9条を子どもたちの世代にひきつぎます。若者を戦場に送らせません。平和の外交戦略で、北東アジアの平和と安定を築きます。

政治腐敗の根源をたどす—企業・団体献金禁止、政党助成金廃止を

「共産党以外に野党として胸をはって堂々とたたかってく姿はまったくくない」
(野中広務元自民党幹事長・11月16日TBS系テレビ)

「格差拡大」のアベノミクスからくらし最優先で経済たてなおす

- 中小企業支援と一体に、最低賃金を時間当り1000円以上に
- 若者を使いつぶすブラック企業やブラックバイトをなくす
- 「正社員ゼロ」の労働者派遣法改悪は許さず、安定した雇用をふやす
- 年金削減ただちにストップし、低すぎる年金の底上げを
- 子ども医療費無料化を国の制度にし、さらに拡充を
- 高すぎる国民健康保険料の引き下げ

アベノミクスの実際

安倍首相は名目賃金だけ見て「賃金2%増」と言いますが、実質賃金は15カ月連続マイナス。給与総額は内閣発足前年比8900円減です。

安倍首相は「雇用100万人増」と主張。でも増えたのは非正規雇用です。
・非正規…約123万人増 ・正規…約22万人減

アベノミクスと消費税増税によって、景況、売上高指数とも4月以降下落。円安倒産は前年比2.8倍にもなりました。

【プロフィール】1967年生まれ。運輸省(現国土交通省)勤務を経て、日本共産党専従。党県委員会書記長など歴任。現在、党中予地区委員長。太山寺町在住。妻と一男一女。

比例代表は **日本共産党** とお書きください (個人名を書くくと無効です)

日本共産党 情報発信中!

LINE

平成26年12月14日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第1区 —

選挙公報

投票日 **12月14日** 日

愛媛県選挙管理委員会

ながえ孝子は

あなたの味方!



民主党
ながえ孝子
たかこ

声の小さな人々、お子さん、女性、ご年配の皆さん、障がいを負った方、人だけでなく中小企業や地方…この弱い立場にある皆さんの声を代弁することが、ながえ孝子の使命です。がんばっている人が報われる、誰もが希望を持てるやさしく明るい国、えひめを作るようがんばります。ながえ孝子は「あなたの味方」です!

♡ 暮らしの安心は「年金・医療・介護・子育て支援」から!

「社会保障」の立て直し・充実の為に、消費税を引き上げました。年金を切り下げ、「要支援」切り…経済の循環の為に社会保障の立て直しから!



♡ いのちと暮らしを守りたい!

皆さんの暮らしは良くなりましたか? 実質賃金が15か月連続で下がり続ける中の物価高。今こそ暮らし応援が大事です。



♡ 国会議員の定数削減はどうなった?

2年前の約束「国会議員の定数削減」はどうなった? 国会議員の「身を切る改革」を無視して、消費増税のご負担をお願いすることは絶対にダメです。



♡ 権力者が憲法解釈を変えるのはルール違反

自衛隊法改悪を自民党は計画しています。国民的議論なしに、権力者である自民党が勝手に憲法の解釈を変えることは民主主義の終わりです。



ながえ孝子プロフィール

1960年 松山市に毛糸店の三女として生まれる。東雲小学校、御幸中学校(現:東中学)、松山東高等学校、神戸大学法学部を卒業後、南海放送に入社。ニュースキャスターなどを務め、1女1男を出産後、初のママ・アナとして現場復帰。1990年～「もぎたてテレビ」パーソナリティを18年間務める。2008年報道技術本部局次長で退職。2009～2012年衆議院議員として文部科学委員会理事・消費者問題特別委員会理事・党幹事長補佐などを務める。●ふたご座・A型。●家族/夫、娘(27歳)、息子(26歳)と2匹の猫●好きなこと/コーヒー、野菜サラダ、旅行、映画●好きな言葉/希望

衆議院小選挙区選出議員選挙
衆議院比例代表選出議員選挙
最高裁判所裁判官国民審査



投票日 12月14日(日)

投票時間は **午前7時から午後8時まで** (一部地域を除く。)



◎投票用紙は、次のとおりです。

- 小選挙区 **薄い桃色の用紙に黒色のインクで印刷したもの**
- 比例代表 **あさぎ色(薄い水色)の用紙に赤のインクで印刷したもの**
- 国民審査 **白色の用紙に黒色のインクで印刷したもの**

- この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で縮小し印刷したものです。
- 選挙公報の掲載順序は、くじで定めたものであり、立候補の届出順ではありません。

愛媛県選挙管理委員会